

『ミニ・オープンキャンパス』（8月8日）でいただいた質問と回答

No.	質問	回答
1	管理栄養士国家試験に合格するためのサポートは例えばどのようなものがありますか。	本学のカリキュラムのうち「専門科目」は必修科目となっており、大半が管理栄養士国家試験の受験科目となります。管理栄養士としての知識や技術を学ぶ一方、試験勉強をすることにもなります。 4年次には、「総合演習」の授業を必修で受けますが、これは「専門科目」に関して、4年間で学習した知識を整理するため、各分野の重要事項などを解説、演習する授業になります。 また、授業外として、3年次から試験対策を始めます。 具体的には、民間業者などが実施する模試の受験（受験料は学生負担）があります。 なお、随時、各教員が学生からの質問・相談等に応じています。日々の授業の内容や試験について、相談することが可能です。
2	具体的にどのような就職サポートをしているのか。	本学では、専任の職員を配置したキャリア支援センターを設置しています。当センターで行っている支援として、まず、管理栄養士として病院や企業で勤務された経験のあるエンプロイメントアドバイザー（就職支援相談員）を配置し、進路に関する個別相談を行っています。 また、各種ガイダンスや講座なども行っています。例えば、卒業生を招いて就活のアドバイスなどを聞く「OB・OGの話を聞く会」、就職活動における準備や心得を学ぶ「インターンシップ事前講座（ビジネスマナー講座）」や「自己PR作成講座」などがあります。 公務員志望の方へは、「公務員講座」で試験の対策も学べます。 このほか、求人情報等の情報提供や、履歴書の添削、面接練習などは随時行っています。
3	適性検査が110点、面接90点に変更になったが、適性検査の問題数は増えるのか。	適性検査は、例年、「化学」の基礎的内容についての理解度を調べる問題と、日本語による小論文（一部英文読解を含む）の大問2つで構成しています。令和3年度入学者選抜においても、この構成は変わらず、問題数が増えることはありません。
4	栄養教諭に関する科目も履修するとしたら、時間割はどのようになるのかを教えてください。1限～5限まで全て授業に出ることになりますか。	学生生活についての説明では、一例として、1年次前期の時間割を示したところです。 1年次に選択できる「栄養教諭に関する科目」は2科目で、前期1科目、後期1科目になります。 一番多く履修する3年次でも6科目で、前期1科目、後期3科目、集中講義として2科目となります。集中講義とは、夏季又は冬季休暇中に短期間のうちに授業を受けるものになります。 前の学年で単位を落とすことなどが無い限り、各学年において、「栄養教諭に関する科目」を履修したとしても、一週間、1限から5限まで時間割が全てが埋まることはありません。

5	高校生のうちにしておいた方が良い勉強はありますか。	本学は管理栄養士を養成する大学であるため、カリキュラム上、理系科目が多く並び、高校段階での化学や生物の履修を前提としています。 入学後、スムーズに勉学を進めるためには、できる限り「化学」や「生物」を履修することが望ましいですし、最低限「化学基礎」「生物基礎」は履修しておく必要があります。 なお、本学の特別選抜は生物を学んでいなくても受験できますが、特別選抜の合格者に対しては、生物や化学を中心とした、入学前学習プログラムが用意されています。
6	入試についてですが、選択のさいに、ポートフォリオの活用はありますか？	本学では、ポートフォリオの活用はありません。
7	貴学では地域貢献として減塩プロジェクトを実践しているとホームページで見たのですが、減塩プロジェクトでは弁当作成のほかに何をしているのか。	毎年、県と連携して、減塩・適塩メニューの開発や、イベントなどでの減塩・適塩に関するPR活動を行っています。 残念ながら、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、今のところ実施できていません。 なお、昨年度は、県と連携し、小中学校にて食育に関する授業を行い、減塩について学んだことをメッセージカードに書いて自宅に持ち帰り、家族で実践してもらった取り組みを行いました。
8	英検や漢検などの検定試験は何級を取得しておくといいですか。	英検や漢検など各種検定試験について、取得すべき基準は設けていません。 なお、英検を含む英語民間試験については、当面の活用は予定していません。 令和7年度入学者選抜（令和6年度実施）に向けて、文部科学省が、英語4技能評価を公平・公正に実施できる仕組みを構築した段階で、本学の入学者選抜に活用するかを改めて検討いたします。
9	学校推薦型選抜の面接は、どのような雰囲気ですか。受験者数に対して教員数人、受験者1人に対して教員数人などといったことを教えてほしいです。	学校推薦型選抜の面接は、受験者1人に対し、面接員（本学教員）3人で行います。面接は受験生1人1人で臨んでいただきます。
10	活動報告書の書き方は、箇条書きですか、それとも文章ですか。	箇条書きか文章かはどちらでも構いません。 なお、活動報告書では、取り組んだ活動や取得した資格・成績などに加え、それに向けて頑張ってきたことや工夫したことなどのプロセスであったり、そこから得られた経験や学びであったり、その経験を入学後あるいは将来どう役立てていくかを含めて評価しますので、これらのことを書いてください。
11	推薦型選抜に不合格だった際に、一般入試にシフトするのですが、その時点から遅れをとり戻すために、何を優先して学習すべきですか。 Ex) 科目や学習法	個人の勉強方法によります。 得意分野を伸ばす方法があれば、不得意分野を克服して得意不得意なく得点が取れるようにする方法もあります。 一方、本学は理系の大学と言えますので、入学後に授業についていくためには理科の化学や生物、数学などは重要と言えます。この点、一般選抜の大学入学共通テストにおいても、理科や数学を必修としています。